

<p>与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができるようにする。</p> <p>・円の方程式から中心と半径を求め、図示することができるようにする。</p>	2節 円の方程式	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を満たす円の方程式を求めることができる。 円の方程式から、中心と半径を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件を満たす円の方程式の求め方を考察することができる。 【主眼的に学習に取り組む範囲】 円の方程式と与えられた条件との関係性をもとに、いろいろな円の方程式で表してみようとする。 	○	○	○	4
<p>一般角について理解する。</p> <p>・弧度法による角の表し方を理解する。</p> <p>・扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。</p> <p>・一般角の三角関数について理解する。</p> <p>・三角関数の相互関係や性質について理解する。</p> <p>・三角関数のグラフが与えられるようにする。</p> <p>・三角関数を含む方程式や不等式の解法を理解する。</p>	3節 三角関数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角の表し方について理解すること。 三角関数とそのグラフの特性について理解すること。 三角関数の性質や相互関係や性質の基本的な性質を理解すること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三角関数の性質を利用して、三角関数の値を手探りして求めることができる。 三角関数の性質から、周期性や対称性などのグラフの特性を考察したり説明したりすることができる。 三角関数のグラフを平行移動したり拡大・縮小したグラフについて、元のグラフとの関係も、考察したり説明したりすることができる。 【主眼的に学習に取り組む範囲】 三角関数の相互関係や性質に関心をもち、いろいろな三角関数の値を求めようとする。 三角関数の相互関係や性質に関心をもち、 	○	○	○	7
<p>定規とコンパス</p> <p>・有理数の整数の指数について理解する。</p> <p>・乗乗の定義や性質及び乗乗の計算方法を理解する。</p> <p>・有理数の指数について理解する。</p> <p>・指数関数のグラフや性質を理解する。</p> <p>・指数関数の性質を数的大小比較の手段として活用し、不等式の解法に活用できるようにする。</p>	3節 指数関数、対数関数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗乗の定義や性質を合んだ式を計算することができる。 乗乗を含む式を整理したり、乗乗の値を求めたりすることができる。 有理数の指数を含む式を計算することができる。 指数関数のグラフをかき、とらえる。 指数関数の性質を利用して、数的大小を比較したり、簡単な方程式や不等式を解いたりすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指数を連続させたときの値の変化の周期性を踏まえ、指数を含む式を計算することができる。 乗乗の性質を踏まえ、指数を有理数まで拡張する意義を考察することができる。 グラフの形状から指数関数の性質の特性を把握し、数的大小比較や方程式、不等式の解法について考察することができる。 【主眼的に学習に取り組む範囲】 拡張された指数についても指数法則が成り立つことに関心をもち、積極的に活用しようとする。 指数関数のグラフに関心をもち、調べてみようとする。 	○	○	○	1
<p>対数の定義について理解する。</p> <p>・対数の性質や底の変換公式の利用方法を理解する。</p> <p>・対数関数のグラフや性質を理解する。</p> <p>・対数関数の性質を数的大小比較の手段として活用し、不等式の解法に活用できるようにする。</p> <p>・対数関数の性質を数的大小比較の手段として活用し、不等式の解法に活用できるようにする。</p>	2節 対数関数	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 対数の性質や底の変換公式を利用して、対数を含む式を整理することができる。 対数関数のグラフをかき、とらえる。 対数関数の性質を利用して、数的大小を比較したり、簡単な方程式や不等式を解いたりすることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対数法則の活用によって、対数の性質や底の変換公式を導く過程を考察することができる。 対数関数のグラフと対数関数のグラフの位置関係について、対数関数の性質を踏まえ、考察することができる。 グラフの形状から対数関数の性質の特性を把握し、数的大小比較や方程式、不等式の解法について考察することができる。 【主眼的に学習に取り組む範囲】 指数と対数の関係性について関心をもち、いろいろな対数の性質を調べてみようとする。 対数関数のグラフに関心をもち、調べてみようとする。 	○	○	○	7
<p>定規とコンパス</p>			○	○	○	1

3 学 期	<p>平均変化率の定義について理解する。</p> <p>傾斜について理解する。</p> <p>微分係数の定義やその図形的意味を理解する。</p> <p>導関数を求めることができるようにする。</p> <p>変数が、以外の関数について、導関数を利用して、微分係数を求めることができるようにする。</p> <p>与えられた表やグラフから導関数の式を求めることができるようにする。</p>	<p>1章 微分と積分</p> <p>1節 微分係数と導関数</p> <p>1節 微分係数、分教および標準偏差などの意味について理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し、説明すること。</p> <p>また、数表や相関係数の意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し説明すること。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>平均変化率を求めることができる。</p> <p>式を利用して、導関数を求めることができる。</p> <p>変数は、以外の関数について、微分することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>導関数から微分係数を求めることができる。</p> <p>数表や相関係数の意味を理解し、それらを用いてデータの傾向を把握し説明すること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>傾斜の概念に関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	9
	<p>導関数を用いて関数の増減、減少を調べることができるようにする。</p> <p>関数の増減を求めることができるようにする。</p> <p>3次関数のグラフをかくことができるようにする。</p> <p>関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。</p> <p>グラフを利用して関数の漸近線の傾きを調べたり、不等式を証明したりする方法を理解する。</p>	<p>2節 関数の値の変化</p> <p>2節 導関数を用いて関数の値の増減の調べ方、グラフの傾きをかくこと。</p> <p>また、傾きの考えを事象の考察に活用すること。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>関数の増減を求めることができる。</p> <p>関数の増減を調べてグラフをかくことができる。</p> <p>また、傾きに關する考察から、関数の増加の傾きを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>増減表から必要な情報を取り取り、関数のグラフをかくことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>傾きの概念に関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	10
	<p>不定積分を求めることができるようにする。</p> <p>定積分を求めることができるようにする。</p> <p>定積分と関数の関係について理解する。</p> <p>定積分を利用していろいろな図形の面積を求めることができるようにする。</p>	<p>3節 積分</p> <p>不定積分および定積分の意味について理解し、関数の定積分、不定積分の形で定積分や不定積分を求めること。</p> <p>定積分を用いて直線や曲線で囲まれた図形の面積を求めること。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>不定積分を求めることができる。</p> <p>与えられた条件から、積分定数を定めることができる。</p> <p>定積分の形で定積分や不定積分を求めることができる。</p> <p>定積分を利用して、いろいろな図形の面積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>積分と積分の関係について理解し、不定積分の定積分の性質が成り立つ理由を説明することができる。</p> <p>定積分を利用して面積を求める際に、グラフなどから積分区間を正しく判断することができる。</p> <p>定積分を利用して面積を求める際に、グラフなどから積分区間を正しく判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>定積分のいろいろな性質に関心をもち、積極的に学習しようとする。</p> <p>面積で囲まれた図形の面積の求め方に関心をもち、調べてみようとする。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○	○	合計 305	